



SSH通信

第14号

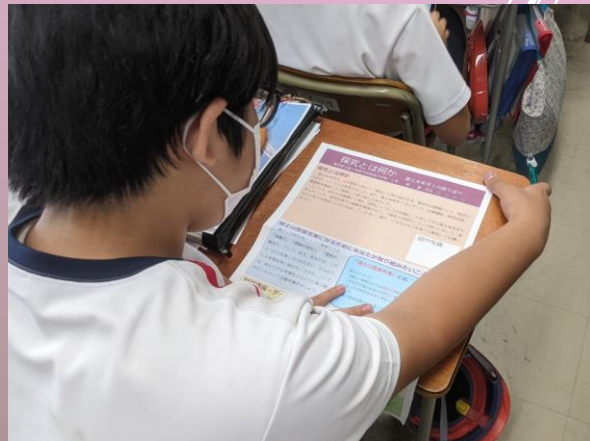
令和4年6月21日 発行
東京都立富士高等学校
東京都立富士高等学校附属中学校
〒164-0013 東京都中野区弥生町五丁目21-1
電話 03-3382-0601
最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 中野富士見町駅

課題研究強化週間

6月15日(水)から6月21日(火)は課題研究「富士未来学」に集中して取り組む【課題研究強化週間】です。
6月22日(水)の探究発表会に向けて準備開始です。

富士未来学Ⅰ「ポスター作成」中学1学年

中学1学年は、ポスターの上段で、「探究とは何か」についてまとめます。探究合宿で仲間と討論して深めた考えを、自分なりの言葉で表現して記述します。下段には、討論講座のディベートにおける自己の役割を踏まえ、体験したことをまとめます。中段には、中学校共通のテーマである「富士山型探究者になるためにあなたが取り組みたいこと」について述べています。中学1学年にとっては初めての探究発表会です。挑戦を楽しみましょう。

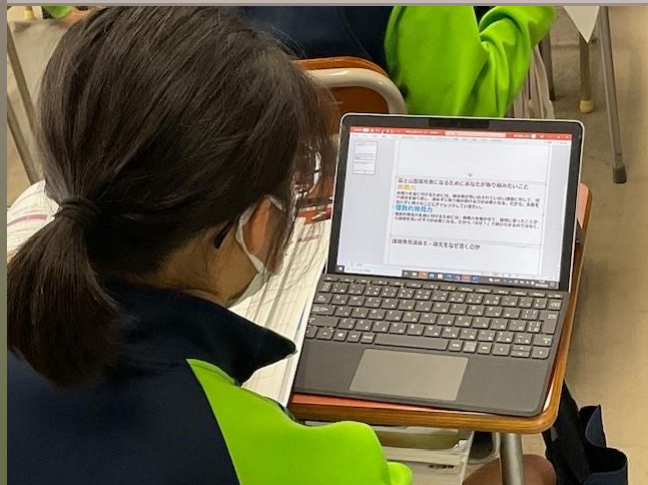


6年間でどのようなことに取り組みたいか

富士未来学Ⅱ「ポスター作成」

中学2学年

中学2学年は、ポスターの上段に「研究倫理講座で学んだこと」についてまとめ、研究倫理に基づいた研究の在り方を考えます。下段には課題発見講座Ⅱで学習した論文の意義や構成についてまとめ、マインドマップで自己と向き合った体験をとおして得られたことを表現します。左の写真は、ポスターを作成している場面です。

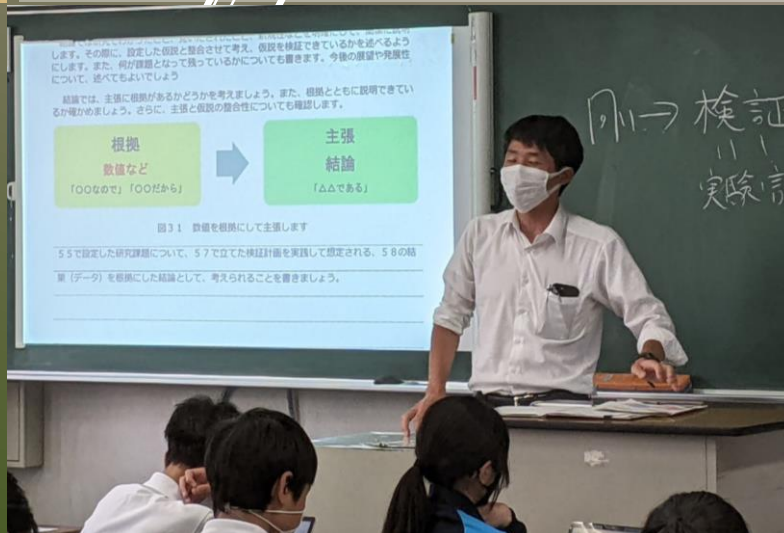


富士未来学Ⅲ「探究基礎講座」

「ポスター作成」中学3学年

中学3学年は、ポスターの上段には「探究基礎講座で学習したこと」についてまとめ、下段には「プレ課題研究で挑戦したいこと」を表現します。

右の写真は、探究基礎講座の中で、主張には数値などの根拠が必要であることを伝えている場面です。相手が納得する主張をするためには根拠が必要です。



根拠
数値など
「○○だから」

主張
結論
「△△である」

図3-1 数値を根拠にして主張します

5.5で設定した研究課題について、5.7で立てた検証計画を実践して想定される、5.8の結果(データ)を根拠にした結論として、考えられることを書きましょう。

検証
実験

富士未来学Ⅳ「質問紙講座Ⅰ」

「ポスター作成」高校1学年

質問紙講座Ⅰでは、作成した質問紙について、お互いに意見交換して改善します。高校1学年は、ポスターの上段には「課題発見講座Ⅲ（ワークショップ）で学んだこと」、中段には「課題発見講座Ⅲ（論文の整理）で学んだこと」、下段には「質問紙講座Ⅰで学んだこと」についてまとめます。



お互いに意見交換

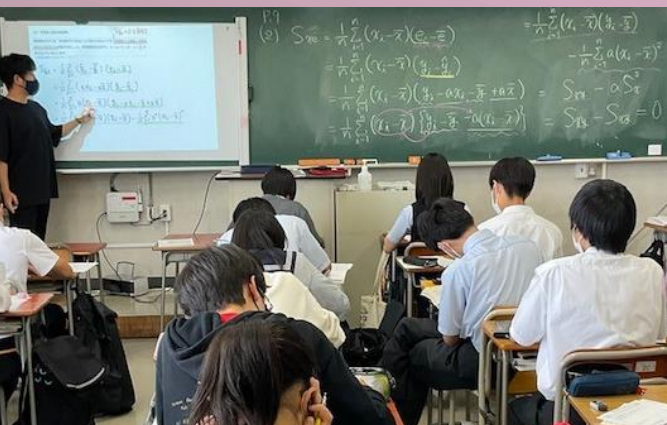
富士未来学Ⅴ「統計分析講座」

「ラボ活動」高校2学年

前回に引き続き、統計分析講座では、回帰直線がどのくらいあてはまっているかを表す決定係数について考えました。頭をひねりながら難しい証明に挑戦しました。ラボ活動では、ポスター作成に取り組み、お互いに指摘し合いながらポスターを改善していきます。今回は、全ての学年で相互評価活動を取り入れています。他者の意見を基に、自己の学習を調整し、より良いポスターにしていきます。

課題研究強化週間

6月15日（水）から21日（火）は課題研究強化週間です。全学年が6月22日（水）の探究発表会に向けて、課題研究に集中して取り組みます。探究発表会では、全校生徒がポスターセッションを行います。また、代表生徒によるプレゼンテーションも行われます。高校3学年は、集大成として英語によるポスターセッションに挑戦します。



難しい証明に挑戦



高校2学年は課題研究の中間発表

第3回理数セミナー 6月4日（土）

「サイエンスとテクノロジーが作る 2050年の世界」

講師 経済同友会副代表幹事

JSR株式会社名誉会長 小柴満信氏

小柴氏は本校の卒業生です。講演では地政学や量子コンピュータなど、多岐にわたる内容に触れられました。講演後の質疑応答も熱を帯びたものとなり、小柴氏からは「生徒を子供と思わず大人目線で講演したが、生徒は大人に負けないレベルの高い質問ができた」との喜びの声をいただきました。

次回の理数セミナーは9月17日（土）の予定です。

